

主な課題整理(案)について

以下は、第2回委員会までの検討を基本に整理したものである。

1. 主な事実関係

- ① 四日市市において、観測史上最大の時間雨量(123.5mm/h)が発生。10分雨量で最大25mmと急激な降雨。
- ② 地下駐車場は、周辺よりも標高が低い集水地形に存在。
- ③ 浸水は、出入り口10か所、エレベータ2か所、地下横断歩道2か所、バスタ四日市整備箇所1か所の計15箇所から発生。
- ④ 地上での冠水が始まってから、約10分後には地下1階の膝高さ程度まで急速に浸水。
- ⑤ 当日は、駐車場スタッフが2名駐在していたが、止水板は全ての出入り口で設置ができなかった。
- ⑥ 国道側車両出入り口の2か所は故障し、代替措置が取られていなかった。
- ⑦ バスタ四日市整備箇所は時間雨量50mmに対応した排水ポンプ等が設置され稼働したが、当日の超過雨量には対応できなかった。
- ⑧ 地下駐車場の内水被害への浸水防止対策に関しては、国道側はPFI契約に基づく防災業務計画及び駐車場風水害(台風・ゲリラ豪雨・洪水等)対策マニュアルを策定済。洪水に関しては、国道側・市道側ともに水防法に基づく避難確保・浸水防止計画(洪水)を策定済。

2. 主な課題

(1) 当日の対応

- ① 気象情報等の情報収集や関係機関への伝達の確実性
- ② 短時間豪雨に対する人力による止水板設置の困難性

(2) 防災計画等

- ① 対策までに一定の時間的猶予のある気象等が前提
- ② 駐車場スタッフへの依存性
- ③ 官民の役割分担の明確性
- ④ 訓練の確実性・実効性
- ⑤ 防災施設のメンテナンスの計画性